

2020年度通常公募_団体情報シート				
団体名	全国子ども食堂支援センター・むすびえ		団体web サイトURL	https://musubie.org/
申請事業名		申請受付番号	2049	
主題	居場所の包括連携によるモデル地域づくり		申請事業の分類 ①	①草の根活動支援事業
副題	支え合う地域、災害に強い地域、資源の地域循環の一体的実施		申請事業の分類 ②	①-1 全国ブロック
			申請事業の分類 ③	-
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	領域②	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	
分野①		分野②		
⑦	安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	①	経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	
-	-	②	日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	
-	-			
領域③	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動		領域④	-
分野③			分野④	
⑤	社会的孤立や差別の解消に向けた支援		-	-

申請事業概要	
<p>中長期的な日本社会のバージョンアップを目指して、地域の多様な居場所の連携実現とその可視化を行うモデル地域づくりに取り組む。また、モデルが他地域に波及するための全国レベルでの自立的かつ持続的な仕組みづくりを同時並行で進める。これにより、直接的にサービスを受取る子や家庭に変化がもたらされることはもちろん、広く日本全国に変化が表れるようにする。また、地域住民や自治体行政、および地域の事業者が地域の居場所の重要性を認識することが重要なため、災害に強い地域づくりや資源の地域循環、縦割りを越えた住民サービスといった普遍的なテーマが、居場所の包括連携と深く関連していることを積極的にアピールし、本事業が狭い福祉領域に閉じ込められないよう留意する。現場レベルでの居場所連携や意見交換会、居場所マップ作成、メゾレベルでの自治体からの委託（政策化）、事業者連携、地域理解の取組み、全国レベルでの質の拡充、意義や指標の発信、調査研究を下記に記すように有機的に関連させることで、本事業が課題先進国から成熟国家への転換に至る重要な一里塚となるようにする。</p>	

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2018/9/10
	法人格取得年月日	2018/12/11
2	●団体概要	
	団体概要	1) 地域ネットワーク支援事業、2) 企業協働事業、3) 調査研究事業の3本柱で運営する。1) では各県単位で子ども食堂の普及促進を図る中間支援団体を支援し(現在35都道府県に約100のネットワーク団体が発足)、2) では全国規模の企業が子ども食堂にコミットする回路を創設し(現在100万円以上の物資・資金援助する企業・団体が23)、3) では全国箇所数調査や小学校区ごとに子ども食堂の有無を表わす全国マップを作成する。
3	●代表者情報	
	代表者名	湯浅 誠
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	-
	代表者の役職 2	-
4	●役員	
	役員の数	18人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の数	1人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	10人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	0人
	常勤・有給・無期	0人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	5人
	非常勤・有給・無期	0人
非常勤・無給(有期・無期)	5人	
	事務局体制の備考	常勤・有給0名
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	問題なし
7	●区分経理・帳簿	
	1. 必要な会計帳簿が備えられている	問題なし
	2. 業務別に区分経理ができる体制である	問題なし
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	0

2	前年度の助成総額 (円)	0
3	<p style="text-align: center;">助成事業の実績内容</p> <p>当団体の前身団体（「こども食堂安心・安全向上委員会」）にて、全国200箇所のこども食堂に3年分の保険料を支給する助成を実施した。むすびえとしては、法人寄付を原資にこども食堂運営者の食品衛生責任者資格取得の実費を支給する助成制度を創設し、希望するすべての人に資格取得費を助成した（2019年度募集、2020年度助成実行）。また、コロナ禍において当団体が行なったアンケート結果からこども食堂の56%が活動していることと同時に資金不足が明らかとなり「むすびえ・こども食堂基金」を創設。「今日をしのぐ」「明日をひらく」を軸に、寄付等を原資にこれまでに第1回、第2回、保険加入緊急助成、第3回（現在選考中）、第4回（8月末頃公募予定）を実行、計画している。助成事業を行う前提として、全国の地域ネットワーク団体との信頼に基づいた関係性を活かし、こども食堂からのアンケートからのニーズを把握しつつ、社会の動きも見据え、こども食堂の地域連携が促進されるよう募集事業を設計している。それにより、普段は飲食店等からの支援を受けているこども食堂が飲食店から弁当を購入し、必要な子ども、世帯に配布する活動を行うことができた。さらに、フードパントリー等での食材やお弁当の配布により個別性が高まったことを受け、情報提供や相談業務を通じて個別支援を行うこども食堂に対して助成した。それにより、学校やSSW、自治会等との連携も促進され、行政窓口や教育委員会がチラシ配布やメール通知などで広報協力する結果となり官民連携が促進された。いずれも、平時のつながりと草の根活動であるこども食堂の強みを活かした地域包括支援につながる取組みであり、その実践が、非常時における子どもや子育て世帯・地域を支える官民連携のセーフティネットを可能にした。</p>	

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり